

# 福島 ぽかぽかプロジェクト



子どもたちの  
 保養継続のために、  
**ご寄付の  
 お願い**

目標額：2017年12月末までに **300万円**

**福** 島の子もたちが野外でのびのびと遊べる場、そして被ばくについてお母さんたちが語り合う場。「福島ぽかぽかプロジェクト」は、福島の親子にそんな拠点を提供してきました。近場で週末保養可能な猪苗代での「ぽかぽか」には約5年半の間、1200人以上の子もと保護者が参加しました。

一昨年、みなさまのご寄付のおかげで、FoE Japan が猪苗代のもとペンションを借り、「ぽかぽかハウス」に生まれかわりました。地元のお医者さんが健康相談にのったり、被ばくの低減や免疫力の増加についてミニセミナーを開催したり、身近な場所の放射線量の測定結果をもとに、み

んなで議論したり…。お母さんやお父さんが、同じ悩みを抱える仲間と語り合い、子どもたちが生きる力を身につける場でもあります。

国・福島県による帰還促進政策が続く中、帰還を余儀なくされたご家族が、参加されるようになり、保養のニーズはますます高まっています。

現在、FoE Japan の「ぽかぽかプロジェクト」は、赤字となり、このままでは継続を断念せざるをえない状況となっています。ぽかぽかプロジェクト継続のため、寄付をよびかけています。みなさまのお力をお貸しください。

参加した方の感想

いつもぽかぽか楽しみにしています。仕事を持っていると週末保養は、本当に大切です。子どもがのびのびと遊べる場。ふだん口に出せぬ「被ばく」という不安や、現在の政策への疑問に関して、同じ思いをもつ母親同士が話し合える場。子どもも自分も心身ともにリフレッシュできるとまた福島に戻って明日からがんばろう！とパワーをたくさん頂き、元気を頂いていつも帰路に着きます。

福島ぽかぽかプロジェクト	年間予算
家賃	130万円
光熱費	40万円
食材・体験・施設など	100万円
交通費（参加者・スタッフ）	150万円
その他	50万円
合計	約470万円

※ぽかぽかプロジェクトには年間約250人の福島の親子が参加しています。



1 郵便振替口：00130-2-68026 口座名：FoE Japan  
 通信欄に、「ぽかぽかプロジェクト」とご記入ください。

2 銀行振込：三菱東京UFJ銀行 目白支店 普通3932089 名義：エフ・オー・イー・ジャパン  
 振込み後、ご氏名・ご住所とともに、「ぽかぽかプロジェクト寄付」とご連絡ください。





## 「福島支援・脱原発」の活動にご支援を

3.11以降、原発事故被害者支援と、  
脱原発・持続可能なエネルギー政策の実現に正面から取り組んでいます。



福島での測定風景

### 原発事故被害者の権利を守る

FoE Japan は被害者・支援者と幅広くつながりあい、当初から、原発事故被害者の権利を守る運動を継続しています。

2012年には、「原発事故子ども・被災者支援法」の制定に貢献。この法律の実現を求める運動を行ってきました。「原発事故被害者の救済を求める全国運動」として、のべ20万筆以上の請願署名を国会に提出し、世論を高めました。

2016年からは、避難者の相談・支援のために設立された「避難の協同センター」の事務局を担っています。同センターには住宅提供打ち切り後も多くの避難者から切羽つまった相談がよせられています。さらに、「3・11甲状腺がん子ども基金」の設立にも協力。理事を務め、運営に協力しています。



電力会社を変えることによって社会を変えるパワーシフトを訴えています

### 電気を選んで未来を変えよう!

2016年4月、電力小売りが完全に自由化されました。FoE Japan が推進する「パワーシフト・キャンペーン」では、「情報開示」「再生可能エネルギー」「原発・石炭火力は使わない」「地域や市民によるエネルギー」「大手電力会社の子会社でない」という視点から、現在までに23社を「パワーシフトな電力会社」として紹介。各地の団体と連携して勉強会やシンポジウムを開催しました。

2016年には、経済産業省が、原発の廃炉費用や福島第一原発事故の事故処理・賠償費用の一部を託送料金で回収可能とする方針を出していますが、これに関して反対の声を可視化し、世論を盛りあげました。



ベトナム原発建設予定地の近くの村にて

### 核なき世界をめざして

反原発や核不拡散にとりくむ世界中の市民たちとともに、核なき世界の実現へ。FoE Japan は、日印原子力協定に反対するための国際キャンペーンや、国際協力銀行など政府系金融機関による原発輸出への資金援助を阻止するため、情報公開を促進させるなどの運動に取り組んでいます。

2016年には、ベトナムで国会議員などに福島原発事故被害の状況を講演。ベトナムの脱原発の決定に貢献しました。2017年には、台湾における脱原発政策決定の背景を調査。報告書を発行し、国内での情報発信をすすめています。